

今年も、昨年に引き続き重機によるミズアオイ再生箇所での攪乱と、新たにヨシ群落部の生物多様性実験を行う箇所の刈り取り作業を、静岡土木事務所で実施しました。

今後の作業については、湿地再生・植生管理部会が中心となり進めますが、ご興味のある方はどなたでも参加できますので、参加希望の方は事務局までご連絡下さい。

れんこんだまり

No.31
2011年4月1日

《 第3回企画運営委員会を開催 》

学識委員、各部会の代表者が集まり、第3回企画運営委員会を平成23年3月1日にもくせい会館で開催しました。企画運営委員会では、各部会の活動状況や部会の課題について話し合いが行われました。

各部会の活動状況として、湿地再生・植生管理部会では、第3工区を中心にミズアオイやコツブヌマハリイ、ハスなど、遊水地内でも減少している植物を中心に保全活動を進めています。

池沼部会では、第1工区の治水整備が完成したことを受け、今後第1工区の池沼部に生息する魚類調査を実施する予定となっています。

自然公園部会では、あさはた緑地（第1工区）の基本計画について、昨年8月から毎月1回部会を開催し検討を進めており、今後は検討したラフプランを基に地域に情報発信を行い、地域の意見も聞きながら計画図を取りまとめていく予定となっています。

また、部会の抱える課題として下記のような意見が部会委員から挙げられ、今後は各部会事務局を中心に課題事項に対する対策の検討も進めていきます。

■課題に対する意見

- 自然再生の目標がほやけ協議会の方向性が分からなくなっている。
- 現地作業は誰でもある程度できるが、調査ができる人材が少ない。調査は、外部に委託できないか。
- 活動する人材が不足している。マスメディアなどを活用し、活動をアピールして人集めをしたい。
- 活動資金がないため、部会員の個人負担となっている。自然再生のための活動費を確保できないか。
- 在来魚が減少し、在来魚を増やすための活動を行いたい、そのための飼育施設の設置ができない。
- 釣り場所ができれば、釣りを通じて子供たちに自然環境体験学習ができるが、現在は釣り場ない。
- 公園計画の検討は、コンセプトが決まらないため計画作りが前進しない。



第3回企画運営委員会

■第3工区に倉庫が寄贈されました

麻機遊水地第3工区局舎下に、静岡市内の5ライオンズクラブより、協議会で現地作業を行う際に使用する道具を入れるためのスチール物置が寄贈されました。

寄贈式は、2月8日に局舎前で行われ、陰山ゾーンチェアパーソンから、静岡土木事務所の海野技監に目録が手渡されました。



寄贈式の様子



寄贈された倉庫

【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomogawa/>